

第3部「決断する力 — リーダーの権限と責任」トータルチェックリスト

- 1 判断の基準を組織の目的に照らして持っている（参照：第21章・第22章）
- 2 決断に伴う責任を引き受ける覚悟がある（参照：第21章・第27章）
- 3 判断の前に立ち止まり、自分の選択理由を整理できる（参照：第22章）
- 4 感情や先入観に流されず、事実に基づいて判断している（参照：第23章）
- 5 上司の意図や価値観を把握し、判断に反映できている（参照：第24・25章）
- 6 自分の裁量範囲（決定権のグラデーション）を理解して行動できる（参照：第26章）
- 7 相談するときは「主張ある相談」として、自分の意見と根拠を示せている（参照：第27章）
- 8 判断が通らなかった場合でも、冷静に整理して再提案できる（参照：第28章）
- 9 経営層の方針の目的を読み取り、現場に適した形で翻訳して伝えられる（参照：第29章・第30章）
- 10 不完全な情報でも最悪を避け、後で修正可能な判断ができる（参照：第31章）